

神奈川県ビリヤード協会 -議事録-

2021.12.07 12:00～ Zoom 会議



参加者：安藤・片岡・崎村・浦野・石井・杉万

| 1

議 題 : KBA 活動の基本指針策定について・KBA 杯収支報告

議論内容：

- ◆基本指針策定の必要性
- ◆活動の基本指針について、定款の第5条で謳っている5本の柱でいいか
※追加したほうがいい柱・不要な柱はないか・優先順位
- ◆担当理事と活動内容を決める
- ◆現状の課題
- ◆その他 KBA 杯収支報告とボランティアの運営費支給

基本指針策定の必要性

【事前配布の資料の説明】P1・P2

KBAは何をする団体？ → どう答える 明確な答えを持っている人はいますか？
現状：それぞれの理事が理想とするビジョンをそれぞれで持っている。

↓

一致していない

↓

興味があること、ないこと様々

↓

各理事で考える優先順位や理想がバラバラ

基本指針をKBAのコンセンサスとしてこれを基準に活動していく事が必要

1つ1つの事項に全理事が企画の段階から右だ左だと意見を言い合う事→無駄

企画は担当理事を中心にメンバーで作り上げる→理事会で承認 の流れを作る

そのためにも基本指針の策定は重要

活動の目的は見失ってませんか？

” 神奈川から変えるビリヤード業界の未来”

目的達成のために、短期の目標を決め、できる事からやっていきましょう。

活動の基本指針について、定款の第5条で謳っている5本の柱でいいか

活動の基本指針を策定するにあたって、社会規範・倫理・道徳・法律を守り

その中で、NBA（日本ビリヤード協会）の規約・KBAの定款の範囲内でルール決めをしていく必要があります。

現在のKBA定款 第4条に活動の目的 第5条に目的達成のための事業について記載があります。まずはこの中から優先順位を決め、基本指針を策定していきましょう。他に緊急にやるべき事項ありましたらご意見ください。→意見ナシ

では、5本柱から緊急ではない項目、必要ない項目はありますか？

- ①ビリヤードの健全普及および指導。
- ②ビリヤードの生涯スポーツとしての健全普及および指導。
- ③ビリヤードの競技会を通じ競技者の競技力向上を図る。
- ④ビリヤードに関する調査研究。
- ⑤その他第四条にあげる目的を達成するために必要な事業。

①と②を分けずに同じ担当者が中心となって動くのはどうか、①と②については普及活動における

ターゲット層が違うだけ。5本の柱だと人材不足、優先順位をつけて活動する。（浦野）
→賛成

普及活動 ・ ビリヤード競技会・インストラクター制 ・ 広告活動

活動において、KBAの目指す方向・他団体の排除しなければならない例。

【事前配布の資料の説明】P3・P4

KBAは各理事が自由に発言、意見を言えるような環境を作りたいと考えています。

この図のイメージを持ち、社会規範、倫理、道徳、法律、は当然守っていく必要があります。
昔から行われている悪しき慣習

・関東支部を例にあげると、過去数十年会計をやらずに今後もやろうとしていなかった。

NBA前専務理事はできないならやらなくても良いという考えなど

社会規範、倫理、道徳、法律からはずれている行為です。

ビリヤード業界の改善されない古き教義

・JPBFを例にあげると、若手プロがまともな意見を言っても業界の体質で

「球が当たらない奴が意見をどの口で意見を言う！」などの発言がまかり通る。

・youtubeで配信していた武井壮などは、プロなら収入を増やして当然という意見に対して、昔ながらのプロは、「収入がなくても業界に貢献してしかるべき」など選手を不幸にするような改善を考えない持論を押し付ける。

つまり、業界のトップに立っている人間が古い考え方を押し付け、若手育成の妨げとなる、からはずれた行為をさします。

KBAの活動範囲として、社会規範・倫理・道徳・法律を守りNBAの規約・KBAの定款の範囲内で活動する。

担当理事・活動内容（今できる事）を決める

普及活動→崎村さん

情報収集 大学サークルについて→県内の大学リサーチ HPで募集可

高齢者向けサークルについて→文化サークルなど需要がないのかりサーチ HPで募集

サークル誘致に協力してもらえる店舗リサーチ

同じような事を個人でやっている店舗はないか（ノウハウをリサーチ）

キャロム競技会・インストラクター資格等→片岡さん

インストラクター制度→インストラクターをKBAで認定（クラス分け）

どのように運営していくか、インストラクター取得の流れ講習テキスト等

ポケット競技会→園山さん（代表選等）・安藤さん

ポケットの試合については、Cクラス以下や店舗対抗・その他小さな試合等

安藤さん・丸岡さんを中心に、KPBAの関わる試合については園山さんを含め協議

他スポーツ団体などの意見交換→安藤さん

緊急ではないため、安藤さんが今までやってきている事を継続

広告活動・情報収集→事務局

募集広告 HP・店舗ポスター等・スポンサー獲得のための営業活動については無知の為フォローください。

※全ての事項において担当者に一任ではない、できる事からはじめる。→最終的な確定は理事会
今すぐに見える事・人が必要な事・時間がかかる事多々事情はあるが、まずは第一歩踏み出す。

現状の課題

人材不足

- 理事の増員→何をすべきか明確でない今、理事を増員しても混乱するだけ
来年度以降の増員に向けて、協会の考え方や活動を理解してもらう必要あり。
理事候補を新設し、活動に参加してもらってはどうか（浦野） → 賛成
- ボランティア会員募集→活動予定の大学サークル誘致からボランティアを募る
インストラクター制からボランティアを募る
KBAで年間表彰など、貢献していただいた人を表彰することはできないか。（浦野）
→”やりがい”につながる 報酬・表彰含め要検討

資金不足

- 試合やイベントでの収入を増やす
 - スポンサーの獲得
- すぐに見込めるのは、試合やイベント収益だが準備等時間がかかる。
まずは企画してみる事からはじめる。

その他 KBA 杯収支報告とボランティアの運営費支給

ボランティアで運営のお手伝いしたスタッフについて、交通費+αの支給
収支報告書を提示、代表補助を入れると赤字だがCSカード分配金がある。
店舗の年会費が赤字（前年度比）と総合的に予算が厳しいので気持ち程度でよいので
支給できないか？ 対象者： 田口・杉万・三浦（A-1）→承認 金額は検討中

まとめ

本年度は加盟店舗を増やし土台作りをする事に力を入れてきた。12店舗→25店舗へ
残りの期間は、来年度からの活動に向けて第一歩を踏み出す。
新しい事に挑戦するのに、最初から ” 難しい ” ” できない ” は言わない。
最初から完璧を求めず、失敗したらやり直せばよい。
できることから始めないと何もできない。（今までのが何もできていない）
課題が出たらみんなで共有し考えればよい。
やるべき事が今回決まったので、加盟店舗さんへ声掛けして興味がある事
協力頂ける事をヒアリング。
理事で作り上げるKBAではなく、みんなで作り上げるKBA。
加盟店舗の皆さんにも興味を持ってもらい、協力してもらえ体制を整えてまいりましょう。